



## 📷 学校生活の思い出に 夜の音楽会



11月5日、鳳凰高等学校の校庭で音楽会が開催され、寮生など約600人は本市在住のバイオリニスト今用アシェルさんが演奏するプロの音色を堪能しました。また、最後に約80発の花火も打ち上げられ、生徒たちは歓声を上げながら笑顔で花火を見上げていました。コロナ禍で様々な行事が中止となる中、“思い出に残るイベントを”と学校が企画したもので、会場では終始生徒たちの笑い声が響いていました。

## 📷 焼酎神社で業界発展祈願



11月13日、焼酎神社として知られる竹屋神社（加世田宮原）で第3回焼酎神祭礼が開催され、焼酎事業者や地元の関係者などが出席し、焼酎業界の更なる発展を祈願しました。奉斎委員会委員長の鮫島吉廣さんは、「ここを焼酎文化の情報発信拠点として全国に発信していかなければならない」と述べました。神事のあとの直会では新酒27銘柄がお披露目され、参加者は新酒の味を堪能していました。

## 📷 深海魚を使った地域活性化を目指して



11月7日、本市と産学官の連携を図る「かごしま深海魚研究会」がプロの料理人を講師に招き、直径150cmの巨大パエリア鍋を使ったズッパ・ディ・ペッシェ（魚のスープ）作りに挑戦しました。本市で漁獲される未利用魚・低利用魚の普及拡大を目的とした取組みの一環で、深海魚のスキウオやタカエビなどを使用。調理に参加した鳳凰高等学校の竹波楽人さん（2年生）は、「トマト味と深海魚が合っていて美味しかった。他に



も深海魚の活用方法を探して広めていきたい」と話しました。

また、子どもたちにも興味をもってもらうと、11月12日、大浦保育園の園児を対象に深海魚教室を開催しました。同研究会の鹿大水産学部大富潤教授からクイズを交え分かりやすく教えてもらった子どもたちは、約30種類の深海魚に触れ、「顔がかわいい」、「本当にお口の中が黒い」と、興奮した様子で楽しそうに観察していました。